

10 月 19 日 : VN 指数は反落、出来高はおよそ 2 年ぶりの低水準に

薄商いの中、売り圧力が強まり、水曜日のベトナム市場は再び下落となった。

ホーチミン市場の VN 指数は、前営業日比 3.59 ポイント (0.34%) 安の 1,060.07 ポイントと反落して取引を終えた。同指数は前日 12.08 ポイント高で引けていた。

多くの銘柄が売られ、値下がり銘柄数は値上がり銘柄数を上回った。その一方で出来高が減少。売買代金は 8 兆 2,000 億ドン (3 億 3,760 万米ドル) と、2020 年 11 月 17 日以来の薄商いとなった。出来高の低迷は 9 月、10 月の大幅安を経て投資家の株式市場に対する関心が低下していることを示している。

VN30 指数も前営業日比 5.41 ポイント (0.51%) 安の 1,053.65 ポイントで取引を終えた。同指数採用銘柄のうち、9 銘柄が上昇、17 銘柄が下落、4 銘柄は変わらずだった。

金融情報サイト vietstock.vn によれば、この日は公益、製造、不動産株の下落が目立った。その中でもペトロベトナムガス (GAS) -1.71% は、株価指数の下落を主導した。マサングループ (MSN) -2.44%、ホアファットグループ (HPG) -2.39%、ビンホームズ (VHM) -0.99%、ビンコムリテール (VRE) -2.33% もそれぞれ下げた。

アジアコマーシャル銀行 (ACB) -1.4%、サコムバンク (STB) -2.26% といった銀行株も大きく売られた。

一方で大型株の一部に買いが入り、指数を下支えした。主な値上がり銘柄にはベトナム投資開発銀行 (BID)、ベトナム国際銀行 (VIB)、ヴィエティンバンク (CTG)、ベトコムバンク (VCB)、サコムバンク (SAB)、FPT グループ (FPT) が含まれた。

ハノイ市場の HNX 指数は、前営業日比 0.53% (1.22 ポイント) 安の 227.9 ポイントで取引を終えた。

売買高は 3,900 万株以上、売買代金は 7,217 億 7,000 万ドンとなった。

また外国人投資家はホーチミン市場で 805 億 8,000 万ドンを売り越し、ハノイ市場で 214 億 4,000 万ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。